

総務教育常任委員会資料

(平成24年12月14日)

〔件名〕

- ・東日本大震災による避難者への生活再建支援について 【総務課】・・・1
- ・総合事務所体制の見直し方針について 【業務効率推進課】・・・2
- ・秋田・鳥取うまいぞ！ハタハタフェスティバルの開催結果について
【東京本部】・・・7
- ・首都圏におけるIJU（移住）ターンの取組について 【東京本部】・・・8
- ・名古屋における情報発信等について 【名古屋代表部】・・・9

総 務 部

東日本大震災による避難者への生活再建支援について

平成 24 年 12 月 14 日

総 務 課

東日本大震災によって本県への避難を余儀なくされた皆様の生活再建を支援するため、各部局の連携・協力した取組の推進を目的に、平成 24 年 4 月に「東日本大震災避難者等総合支援チーム」を設置し取組を推進してきましたが、震災から 1 年 8 月が経過して避難生活が長期化する中で、避難者の皆様の抱える問題は多様化し、きめ細かな対応が必要な状況となっています。

このような状況を踏まえ、避難者支援を継続してこられた「とっとり震災支援連絡協議会」との連携を図りながら、避難者の皆様の生活再建を推進していくこととしました。

◆ 活動計画

| | |
|--------------|--|
| コーディネーター配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かく避難者を回りニーズ把握、行政等支援団体と調整 ・被災避難者 2 名を緊急雇用基金により雇用予定（24 年 12 月末から 25 年度末） ・以下の事業を実施 |
| 情報交換会・交流会等開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難者ネットワーク構築とニーズ把握 ・避難者の横の繋がりが弱く、月 1 回のペースで実施 |
| 支援者ネットワーク構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・上記事業開催等の人的、物的支援者を登録・ネットワーク化 |
| 被災地訪問 | <ul style="list-style-type: none"> ・里帰り事業 |

◇ 東日本大震災避難者交流事業

- (1) 日 時 平成 24 年 12 月 23 日（日） 11:00～16:00
- (2) 場 所 倉吉市 上灘公民館
- (3) 主 催 とっとり震災支援連絡協議会、鳥取県
- (4) 内 容 クリスマス会、知事との意見交換会、相談会（法律、子育て、就職、健康等）
情報コーナー

◆ 参考

県内市町村における避難者の受入状況（平成 24 年 11 月 26 日現在）（単位：人）

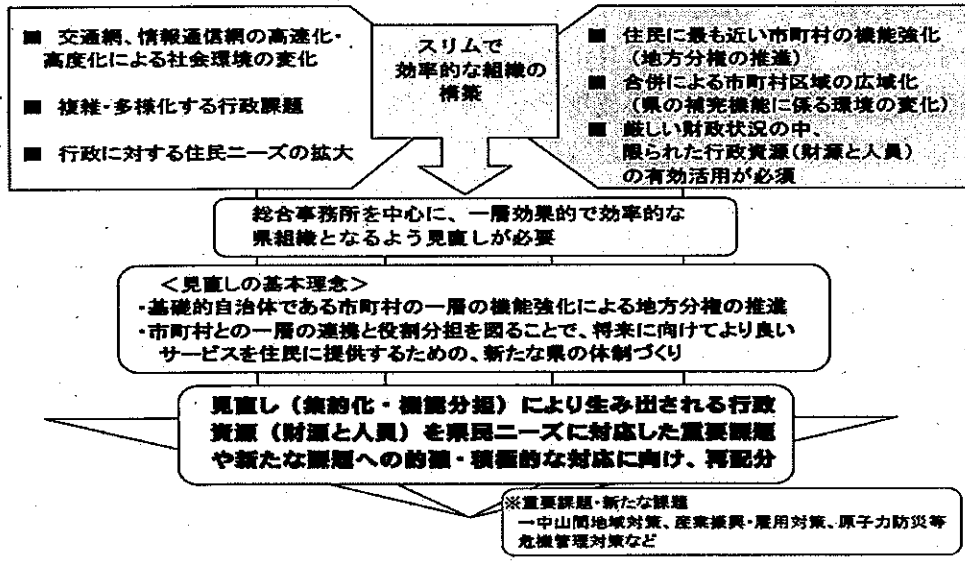
| | 鳥取市 | 米子市 | 倉吉市 | 境港市 | 若桜町 | 三朝町 | 湯梨浜町 | 琴浦町 | 北栄町 | 大山町 | 南部町 | 伯耆町 | 日南町 | 江府町 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 岩手県 | | 2 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 宮城県 | 9 | 4 | 3 | 3 | | | | | | | | 1 | | | 20 |
| 福島県 | 77 | 19 | 7 | 4 | 2 | 3 | | 3 | 4 | 4 | 8 | | | 4 | 135 |
| 茨城県 | 5 | | | | | | 1 | | | | | | 2 | | 8 |
| 栃木県 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 千葉県 | 14 | 2 | | | | 3 | | | | | | | | | 19 |
| 埼玉県 | 7 | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 東京都 | 8 | 3 | | | | | | | | | | | | | 11 |
| 神奈川県 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 計 | 123 | 30 | 10 | 7 | 2 | 6 | 1 | 3 | 4 | 4 | 8 | 1 | 2 | 4 | 205 |

総合事務所体制の見直し方針について

平成24年12月14日

行財政改革局業務効率推進課

今後の総合事務所体制について、「県政推進に向けた県組織のあり方検討会議」や、市町村、県民の皆様からいただいたご意見、議会での議論等も踏まえ、次のとおり見直しを行う方針とし、組織編成作業を進めることとしましたので、その概要を報告します。



【見直し案】

～見直しの基本的な考え方～

- 3圏域（東部・中部・西部）体制を基本に集約
- ただし、八頭・日野にも必要な機能・資源（組織・人員）を配置

【圏域ごとの見直しのポイント】

| 東部 | 中部 | 西部 |
|--|---|--|
| <p>本庁の組織・人員の活用と商工労働分野などとの連携強化により、東部の広域振興及び八頭地域等の中域振興を推進</p> <p>○県民局機能（総合調整、地域振興）を本庁に移管した新たな体制</p> <p>・東部の広域振興及び八頭地域等の中域振興を担当する「<u>東部振興監（仮称）</u>」を本庁に置くとともに、地域づくり組織の一部として「<u>東部振興課（仮称）</u>」を設置</p> <p>・八頭に全県の鳥獣被害対策の中核となる組織・人員を配置 農林・県土の必要な現地機能を担う組織・人員も効果的に配置</p> | <p>鳥取中部ふるさと広域連合での県と市町村の新たな連携体制の構築により、中部の地域振興を推進</p> <p>○現在の総合事務所体制を継続しつつ、市町村との新たな連携体制を推進</p> <p>・「鳥取中部ふるさと広域連合」との連携強化に向けて、まずは県の観光担当職員が広域連合に常駐</p> | <p>日野地域の課題に対応する現地完結型と広域課題への対応力強化により、西部全体の地域振興を推進</p> <p>○日野地域以外と、併せて日野を含む西部全体の行政について所管する、新たな「<u>西部総合事務所</u>」体制</p> <p>○日野には「<u>日野振興センター（仮称）</u>」を置くとともに、日野地域の重要課題への対応や必要な窓口機能を果たす「<u>日野振興局（仮称）</u>」を設置</p> |
| <p>○中山間地域振興対策を総合的に推進する組織を設置（追加）</p> <p>○町村への県職員派遣制度（町村の具体的な要望を踏まえながら、効果的な体制を検討）</p> <p>○業務上独立性の高い県税部門は総合事務所体制から分離</p> <p>○権限等の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場重視の観点から、本庁から総合事務所への権限移譲の一層の推進と、併せて総合事務所長の裁量により活用できる予算を検討 ・市町村の希望を踏まえた上で、県から市町村への権限と財源の移譲を推進 | | |

【圏域ごとの機能の考え方】

①東部

| | |
|---------|--|
| 県民局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・本庁に東部の広域振興及び八頭郡等の中域振興を担当する責任者と組織を設置し、東部全体の振興への支援・連携を行う。併せて、中山間地域振興対策を総合的に推進するチームを設置する。 ・総務会計事務は、本庁に一元化することを目指し、可能な業務から本庁に集約。 |
| 福祉保健局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状どおりとするが、両局の統合について継続して検討する。 |
| 生活環境局機能 | |
| 農林局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興課、地域整備課、林業振興課については、鳥取と八頭の間で可能な業務を集約し、より効果的・効率的に機能を配置する。 ・八頭に全県の鳥獣対策の中核となる組織・人員を置く。 |
| 県土整備局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状どおりの機能を鳥取、八頭に配置するが、計画調査の機能を事業課に統合するなど、より効果的・効率的な業務執行体制へ再編を行う。 |
| 県税局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・独立した組織体制となる県税部門については、3県税事務所間の業務分担について継続して検討する。 |

②中部

| | |
|---------|---|
| 県民局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・「鳥取中部ふるさと広域連合」との有機的に連携した新体制を構築する。(観光振興分野から取組を始める。) ・県民局を地域振興局に改称し、中部地域の振興への支援・連携を行う。併せて、中山間地域振興対策を総合的に推進するチームを設置する。 |
| 福祉保健局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状どおりとするが、両局の統合について継続して検討する。 |
| 生活環境局機能 | |
| 農林局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状どおりとする。 |
| 県土整備局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・機能は現状どおりとするが、計画調査の機能を事業課に統合するなど、より効果的・効率的な業務執行体制へ再編を行う。 |
| 県税局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務上独立性の高い県税部門は総合事務所体制から分離する。 ・3県税事務所間の業務分担について継続して検討する。 |

③西部

| | |
|---------|--|
| 県民局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・日野地域の専属課題については従前どおり日野で対応、日野地域以外及び西部全体の課題については米子で対応できるような体制を整備する。 ・県民局を地域振興局に改称し、西部全体の振興への支援・連携を行う。 ・中山間地域振興対策を総合的に推進する体制として、日野には日野振興局を、米子には担当チームを置く。 ・総務会計事務は、米子に一元化することを目指し、可能な業務から米子に集約。 |
| 福祉保健局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状どおりとするが、両局の統合について継続して検討する。 ・日野福祉保健局の機能は西部に一元化する。 |
| 生活環境局機能 | |
| 農林局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興課、地域整備課、林業振興課については、米子と日野の間で可能な業務を集約し、より効果的・効率的に機能を配置する。 |
| 県土整備局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状どおりの機能を米子、日野に配置するが、計画調査の機能を事業課に統合するなど、より効果的・効率的な業務執行体制へ再編を行う。 |
| 県税局機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務上独立性の高い県税部門は総合事務所体制から分離する。 ・3県税事務所間の業務分担について継続して検討する。 |

【見直し時期】

平成25年4月以降の組織編成に反映させる。

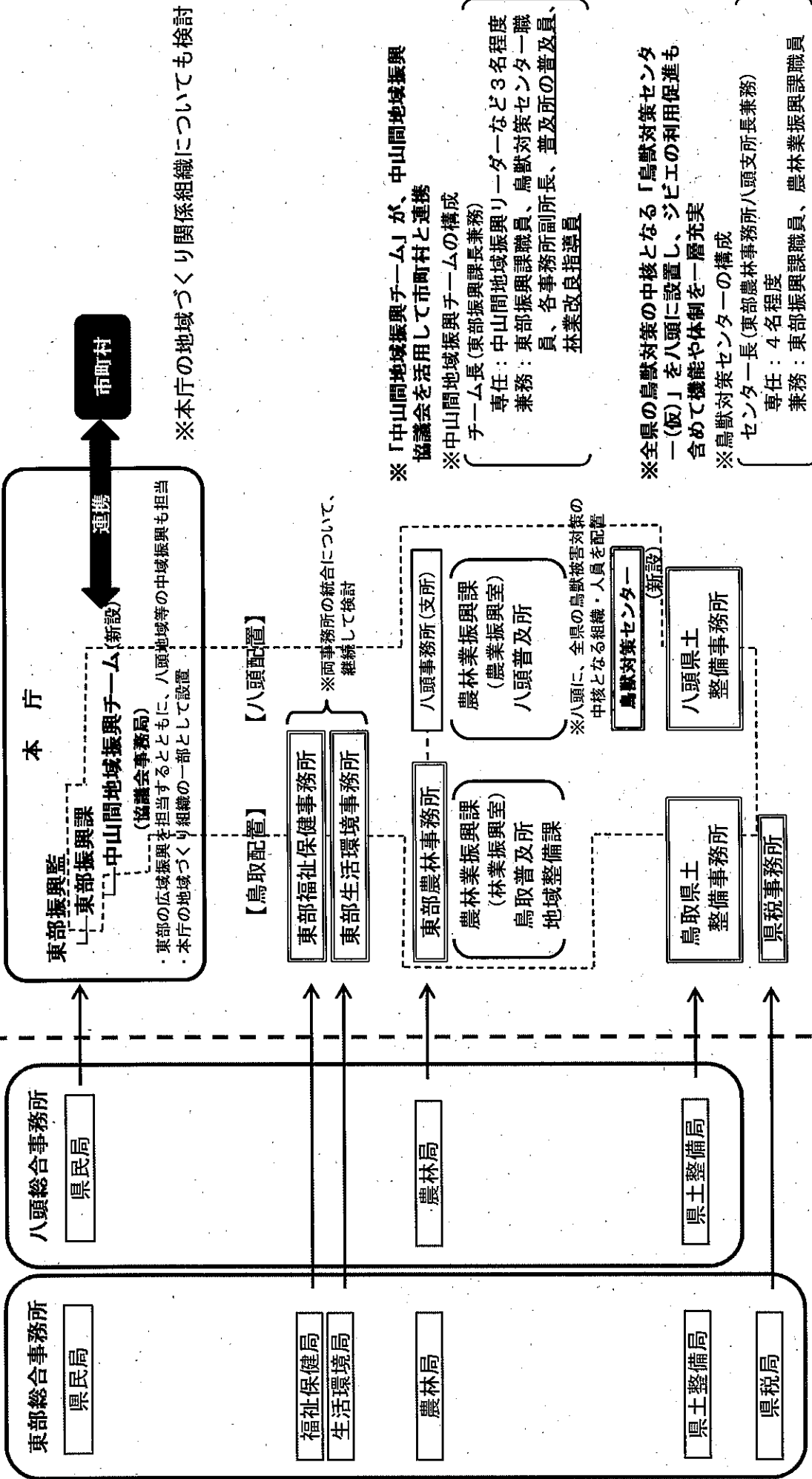
総合事務所体制（東部圏域）

※組織名は仮称

H25年度の体制

（調整後の見直し案に、その後の意見を反映させたもの）
 ～本庁の組織・人員の活用と商工労働分野などとの連携強化により、東部の広域振興及び八頭地域等の中域振興を推進～

現行



総合事務所体制（中部圏域）

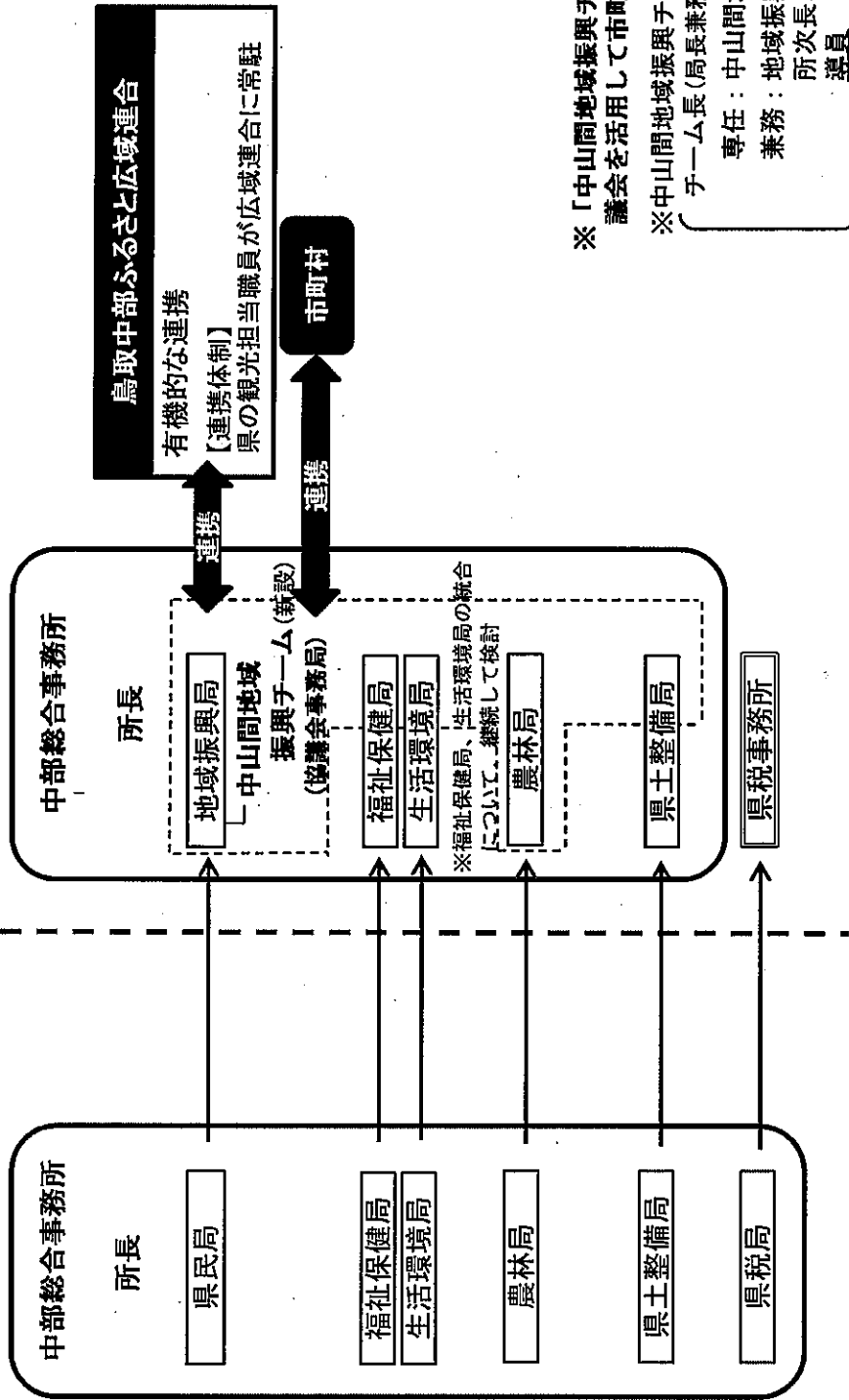
※組織名は仮称

H25年度の体制

（調整後の見直し案に、その後の意見を反映させたもの）

現行

～鳥取中部ふるさと広域連合での県と市町村の新たな連携体制の構築により、中部の地域振興を推進～



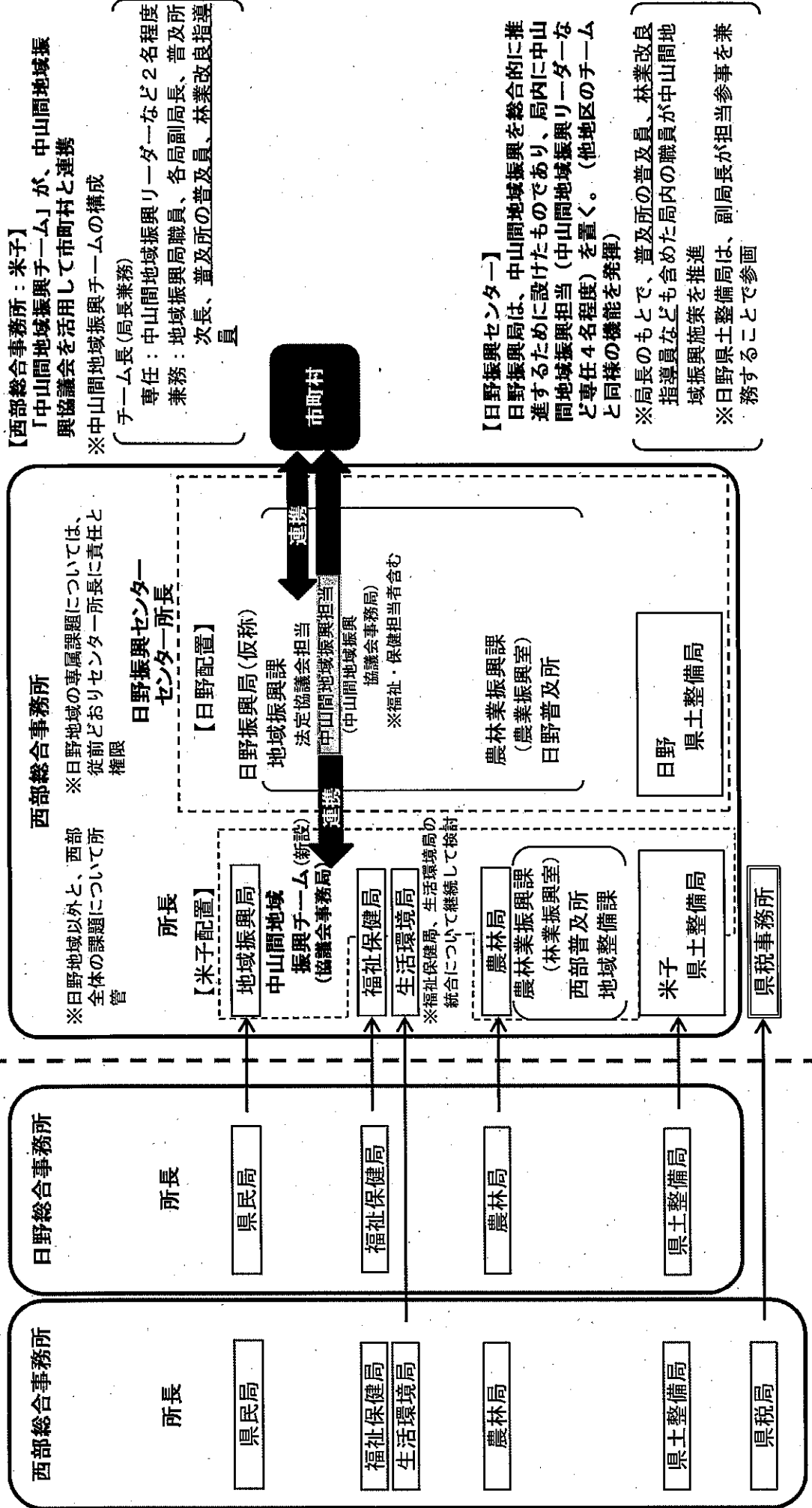
総合事務所体制（西部圏域）

※組織名は仮称

H25年度の体制

（調整後の見直し案に、その後の意見を反映させたもの）
 ~日野地域の課題に対応する現地完結型と広域課題への対応力強化により、西部全体の地域振興を推進~

現行



秋田・鳥取うまいぞ！ハタハタフェスティバルの開催結果について

平成24年12月14日
食のみやこ推進課
東京本部

ハタハタの主産地である鳥取県と秋田県が連携し、都内で「秋田鳥取うまいぞ！ハタハタフェスティバル」を開催しました。

- 1 日時 12月1日（土）・2日（日）午前10時～午後4時
- 2 会場 東京都中央区 築地本願寺前広場
- 3 主催 鳥取県、秋田県、鳥取県産魚PR推進協議会、秋田県漁業協同組合
- 4 内容
 - (1) 秋田 VS 鳥取ハタし合い！両県知事によるハタハタうまさ頂上決戦
応援ゲスト：さかなクン（山陰海岸学習館ギョギョパイザー）
加藤夏希（あきた美の国大使）
 - (2) 両県ハタハタ料理（本県はハタハタ昆布メ井、一夜干し焼き、唐揚げ等）・特産品販売
 - (3) 両県伝統芸能の披露（因幡の傘踊り、なまはげ郷神楽）
 - (4) 両県ハタハタの水槽展示
 - (5) 鳥取県ブース（県観光・移住定住・航空機利用促進PR等、鳥取市・岩美町観光PR）
など
- 5 来場者数 2日間で約1.3万人（1日5千人、2日8千人）
- 6 来場者の声
 - ・ハタハタは秋田のものと思っていたが、鳥取のハタハタも旨い。
 - ・焼きたてが食べられてうれしい。身が柔らかくて、頭からまるごと食べれるのがいい。
 - ・脂が乗って美味しい。くせがなくてよい。
 - ・秋田・鳥取の共同イベントは、個性がそれぞれ出ている東京では今までなかったイベント企画。こんなイベントが定期的であれば楽しい。
 - ・（さかなクンの声）カレー粉であげたハタハタのフリッターが最高。ギョギョっとする美味しさ。



【同時開催】「秋田鳥取まるごと！ハタハタまつり」（首都圏飲食店でのフェア）

- ・期間 11月1日（木）～12月20日（木）
- ・内容 首都圏飲食店40店舗における両県のハタハタを使った料理の提供
（両県産ハタハタ提供店6店、鳥取県ゆかりの店17店、秋田県ゆかりの店17店）

首都圏におけるIJU(移住)ターンの取組について

平成24年12月14日
東 京 本 部
とっとり暮らし支援課

首都圏を対象に、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構と連携（委託）実施している本県へのIJUターン促進に係る主な取組状況について、次のとおり報告します。

1 鳥取来楽募カフェ(とっとり暮らしセミナー、東京会場)

IJUターンに関心のある方々に、軽食をとりながら、鳥取にIターンされた「金田ありのみ農園(鳥取市佐治町)」の金田さんの体験談を聴いていただき、鳥取への移住を具体的に考えていただく契機とするために実施した。

- (1) 日 時 10月13日(土)、14:00~16:00
- (2) 会 場 りせっとCafe フォレスト虎ノ門
- (3) 来場者 31名(大人24名、子供7名)
- (4) 結果等

・参加者には、本県の食材を使った軽食(新米を使ったおむすび、トマトとブロッコリーのサラダなど6品目)で、素材の良さを実感していただきながら、和やかな雰囲気の中で、体験ツアーへの参加も促し、本県への移住について具体的に考えていただくことができた。

2 羽田発!丸ごと“とっとり”体験ツアー[※]

IJUターンに関心のある方々に、実際に本県を訪問していただき、食のみやこ、子育て王国等、暮らしやすい鳥取を実感していただくために実施した。

- (1) 日 程 11月10日(土)~11日(日)1泊2日
(鳥取市、倉吉市を訪問)
- (2) 参加者 10組24名(大人20名、子供4名)
- (3) 結果等

[体験内容]
・「とっとり子育て暮らしのススメ」セミナー
・食のみやこ鳥取県フェスタ体験
・とっとり暮らし体験(そば打ち・自然体験)
・移住定住者との交流 など

・本県訪問が初めての方も多かったが、事前に鳥取来楽募カフェに参加された方など、本県への移住に関心の高い方が参加された。
・上記のうち4組は具体的に移住の検討を進められており、うち1組は11/12~15に県内で就農体験をされた。

3 「秋田鳥取うまいぞ!ハタハタフェスティバル」における移住定住相談ブースの設置[※]

- (1) 日 時 12月1日(土)・2日(日)、午前10時~午後4時
- (2) 会 場 築地本願寺前広場(中央区築地)
- (3) 内 容 鳥取県移住定住サポートセンター相談ブース(テント)設置、パンフレット配布等。
- (4) 結果等

・新たな移住定住相談者を発掘するとともに、本県への移住定住についてPRすることができた。直接相談者22名。

4 関東各大学と鳥取県企業の情報交流会

※公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構と連携して東京で初めて取り組んだイベント。

- (1) 日 時 11月29日(木)13:45~17:15
- (2) 場 所 鳥取県庁講堂
- (3) 内 容 主に平成26年春卒業予定の学生の求人・求職に係る情報交換
- (4) 参加者 関東地区8大学の就職担当者、31県内企業・団体の採用担当者
- (5) 結果等

・参加大学の就職担当者に本県にお越しいただき、鳥取の地で直接情報交換したことにより、県内に多くの優良企業があることを認識していただくことができた。本県出身学生等の就職相談の際に、県内企業への就職をより強力に斡旋していただけることが期待できる。

5 鳥取県企業就職説明会(東京会場)

- (1) 日 時 12月1日(土)、14:00~16:30
- (2) 場 所 全国町村会館(千代田区永田町)
- (3) 内 容 本県へのIJUターン就職を希望する学生・一般求職者を対象とした就職説明会
- (4) 参加者 43名の学生及び一般求職者、20社の県内企業採用担当者
- (5) 結果等

・多数の県内優良企業が参加され、プレゼンテーション形式による企業説明と個別面接を実施された。大学3年生を中心とする来場者は各企業の説明を熱心に傾聴されていた。

※2と3の事業は、“とっとり暮らしのススメ”情報発信事業(9月補正予算)で実施したものです。

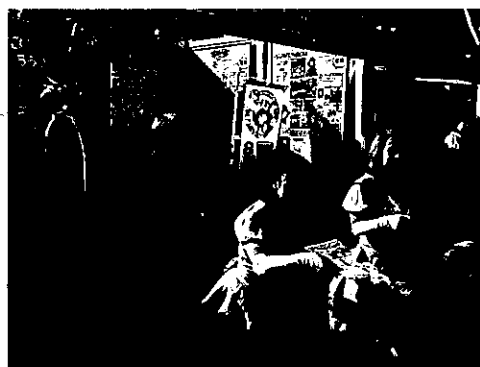
名古屋における情報発信等について

平成24年12月14日
名古屋代表部

1 「第58回名古屋まつり」での鳥取県PR

名古屋の秋の最大の祭りに参加し、まんが王国とっとり及び鳥取県観光PRを実施しました。

- (1) 日時 10月20日(土)、21日(日) 正午～午後8時30分
- (2) 会場 名古屋まつり「オアシス21・銀河の広場」(名古屋市東区東桜)
- (3) 内容 ・鳥取県ブースを設置し、まんが王国とっとり及び観光PR
・パードプリンセスによるステージショーでまんが王国とつとりをPR
- (4) 来場者数 77万人程度
- (5) 主催 名古屋まつり協進会(名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所)
- (6) 概要 「まんが王国とっとり」及び開催を間近にした「国際マンガサミット鳥取大会」をPRしました。来場者の皆さんにも「まんがといえば鳥取」ということがかなり認知され、多くの方がブースに立ち寄られました。

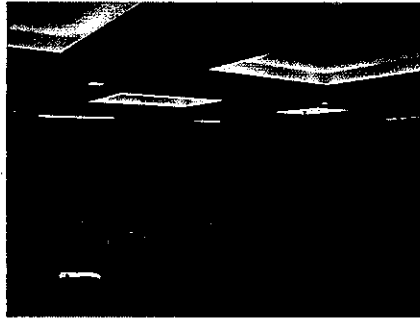


名古屋まつり会場風景

2 「とっとり企業人交流会 in名古屋2012」の開催

中京地区の企業に対し、鳥取県の経済・産業施策や企業立地環境等をPRするため「とっとり企業人交流会 in名古屋2012」を開催しました。

- (1) 日時 11月9日(金) 午後5時30分～7時
- (2) 会場 ポートメッセなごや(名古屋港金城ふ頭)内レストラン
- (3) 参加者 中京地区の企業の方、鳥取県進出企業及び鳥取県企業と取引のある企業の方
名古屋商工会議所、展示商談会「メッセナゴヤ」出展の県内企業の方
鳥取県内の教育機関、(公財)鳥取県産業振興機構職員など 50名
- (4) 内容
 - ① 鳥取県の経済成長戦略、立地環境等についてのプレゼンテーション
 - ② 意見交換会 等
- (5) 概要
県ゆかりの企業の皆さんに加え、今年7月デンソー(愛知県刈谷市)で開催した「新技術・新工法展示商談会」を契機に取引等が始まった愛知県内企業等も多く参加いただきました。
会では、来春の鳥取自動車道全通によりさらに鳥取県が近くなることや鳥取県の企業立地環境をPRするなど、鳥取県関係者と中京エリアの企業人の皆さんの有益な交流の機会となりました。
- (6) 「メッセナゴヤ2012」への鳥取県企業出展
ポートメッセなごやを会場に、日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2012」が11月7日から10日に開催され、鳥取県からも4企業が出展し自社製品をPRされました。



「とっとり企業人交流会 in名古屋 2012」の様子

3 「ふるさとの干支・民芸品展」及び「冬のふるさとフェア」の開催

名古屋代表部が入居する「中日ビル」を会場に、各県事務所で構成する協議会が開催するフェアにおいて、県産品のPR等を実施しました。

(1) 「ふるさとの干支・民芸品展」

○会期 11月26日(月)～11月30日(金)

○概要 鳥取県の民芸品を広く紹介、PRしました。

(2) 古里のお正月：第9回冬のふるさとフェア ～全国センター合同物産観光展～

○会期 12月3日(月)～12月7日(金)

○参加県等 鳥取県他(17県)

○鳥取県ブースの出展内容

- ・販売商品：とうふちくわ、氷温熟成お米、砂丘らっきょう、あご入りだし、大山ハム、長いも等
- ・今回の目玉商品：秋の味覚、お正月用商品「あんぼ柿、氷温熟成まる餅、ゆずとうふちくわ」

○概要 数多くのお客様が来場され、中にはとうふちくわや長いも、お米をまとめ買いされる方もあるなど、食のみやこ鳥取県を広くPRしました。

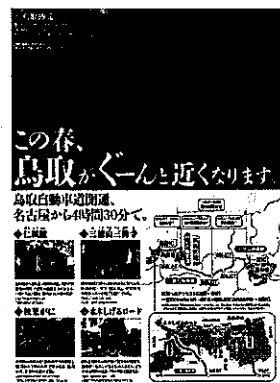


ふるさとフェアの様子

4 鳥取自動車道全線開通PR

鳥取自動車道全線開通のPR及び鳥取県の認知度向上を図るため、東海、北陸エリアを中心に高速道路サービスエリアで配布される広報物において鳥取県のPRを行います。

| | | |
|--------|---|----------------------|
| 媒体 | サービスエリアガイド 「名神・北陸道路版」 | フリーペーパー 「高速家族」 |
| 発行 | 平成25年1月 | |
| 発行部数 | 50万部 (B2折り B5 仕上げ) | 15万部 (A4版 24ペー ジ) |
| 掲載内容 | 鳥取自動車道全線開通で近くなる鳥取県へのアクセスと魅力をPR (1ページ掲載) | |
| 配布エリア等 | 東海北陸エリアを中心にサービスエリア50カ所で1月から3月まで配布 | |



PRイメージ